

会議録（要点録）

会 議 名	第4回 第4次八王子市教育振興基本計画策定検討会	
日 時	令和6年8月27日(火)午後7時00分～8時30分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 802会議室	
出席者氏名	参 加 者	川島弘嗣、大宝院清孝、増田正弘、三浦壮次、中村八重、櫻井励造、小室裕美、小林七海 :座長 :副座長
	教育委員会事務局職員	長井優治 教育総務課長、狩野貴紀 統括指導主事、志村亮介 統括指導主事、福島裕子 統括指導主事、田島裕子 生涯学習政策課長、倉田直子 放課後児童支援課長、吉森研吾 スポーツ振興課長、佐取久満 スポーツ施設管理課長、松井洋一 学習支援課長、叶清 文化財課長、塩澤宏幸 日本遺産推進担当課長、飯塚由則 こども科学館長、堀内栄史 図書館課長、大澤吉隆 図書館企画調整担当課長、鈴木秀吾 図書館分館担当課長
	事 務 局	三枝信博 教育総務課主査
欠 席 者 氏 名	佐藤ますみ、矢ヶ崎由香	
次 第	1 開会 2 議題 第4次八王子市教育振興基本計画における個別施策(生涯学習スポーツ分野)について 3 その他 4 閉会	
公開・非公開の別	公開	
傍 聴 人 数	なし	
配 付 資 料 名	・次第 ・資料1 第4次八王子市教育振興基本計画における個別施策(生涯学習スポーツ分野)	

	会議の内容
事務局	1 開会 2 議題 第4次八王子市教育振興基本計画の基本的な方向について 「資料1」について説明。
座長	各施策について、御意見等をいただきたい。
参加者	学校・家庭・地域の連携・協働というところで、全体を通して感じたことは、1つ目は、連携をいかに進めていくかということ、2つ目はそれを担う人材の育成で

<p>参加者</p>	<p>ある。連携と言ったときに、例えば、施策20「放課後の子どもの居場所づくり」において、学童保育所の運営を市教育委員会で全部できるかということ、それは難しいことであって、そこは民間のノウハウを十分に活用し、その場合には、民間に丸投げをしない意識が必要である。学童保育所の運営を民間に委託をする場合には、評価を市教育委員会側がしっかりグリップして取り組んでいくことが改善の方向に向かう一つのポイントであると思う。最終的には、評価をどのように考えていくかが大事である。人材の育成も同じで、市教育委員会で全部やるのは難しいと思うので、民間のノウハウをどのように活用していくかが重要だと思う。</p> <p>P1「19 家庭教育支援活動の推進」について、「施策の方向」の1つ目にある「主な取組」に「「いえいく」の活用」とあるが、保護者自身の家庭教育が大事であると思っている。保護者自身としてのあり方や子どもに対する接し方、育て方の方法論を私は家庭教育と呼んでいるが、保護者自身の家庭教育を必要としている保護者は少なからずいると思う。子どもだけでなく保護者にも焦点を当てた啓発にするべきだと思う。次に、「施策の方向」の3つ目にある「地域で、より多くの保護者に向けた支援活動ができるよう、保護者同士や地域をつなぐ人材を育成します」の「主な取組」に「ファシリテーター育成講座の開催」とあるが、保護者同士や地域をつなぐスキルを学ぶことは大切だと思うが、社会教育士や地域コーディネーターが、現場に関わるきっかけ作りが最初の難関だと思うので、その初期構築まで対応できる人材が必要であると思う。</p> <p>P2「20 放課後の子どもの居場所づくり」について、「施策の方向」の5つ目にある「主な取組」の部分で、具体的な例として、鏈水小学校で開催している「おかえり喫茶」や、NPO法人 dattochihome が行っている「あそび場だっつつち」、八王子冒険あそび場の会が行っている「天神町ぼうけんひろば」といった、放課後子ども教室以外の放課後の居場所についての事業支援や助成金の拡充を視野に入れた方が良いと思う。東京都の子どもの居場所創設事業の補助金制度を八王子市が活用しているかはわからないが、改めて活用していくことも検討した方が良いと思う。放課後子ども教室に関わっている方は有償だと思うが、地域の皆さんのボランティア精神に依存した放課後子ども教室では、今後立ち行かなくなると思う。</p> <p>P3「26 誰もが学べる環境の整備」について、子どもたちの調べ学習として体験学習や生涯学習につながる土壌を作るためには、子どもたちだけでなく保護者も含めて情報を得やすいプラットフォームをつくる必要がある。「はちコミネット」というサイトがあるが、コミュニティー活動応援サイトであることから生涯学習に振り切ったものではないため情報が足りないと感じている。例えば、子育て応援サイトが八王子市は充実しているが、その子育て応援サイトの生涯学習版をつくり、八王子市主導の講座やイベントだけではなくて、あったかホールなど、ほかの地域団体が実施している活動を掲載しつつ、サイト登録者に情報を発信するなど、情報を一元</p>
------------	--

参加者	<p>化することが大事である。そのほか、はちおうじ出前講座も冊子で出ているが、データ版は冊子をPDF化するとどまっているので、しっかりとデータベース化したものをサイトに載せ、検索しやすくした方が良いと思う。</p> <p>P3「26 誰もが学べる環境の整備」について、情報の一元化の部分で、情報はあればあるほど人間の好奇心は増し、自分には何があるのかという興味が広がってくる。民間には魅力的な検索サイトがあるので、参考にしてほしい。</p> <p>P2「20 放課後の子どもの居場所づくり」について、安心安全な子どもの居場所を確保しながら、ボランティアとして色々な方が関わっているが、例えば、小学校を卒業した子ども達がボランティアとして関わる仕組みを作ることができないだろうか。小学校は豊かな思い出がある場所なので、卒業生もいろいろな機会に関わりを持っている。地域の子どもたちが卒業後、小学校に戻りボランティア等の活動をすることによって自分の中の自己有用感にも寄与することができる。自分も役に立っているといった、人間として生きる力も保てると思っている。自分も役に立っていると感じさせるようなことを地域として取り組めるような仕組みがあると良いと思う。</p> <p>P1「19 家庭教育支援活動の推進」について、「主な取組」の2つ目にある、茶話会形式の家庭教育支援講座の部分で、茶話会だけでなくオンラインでの開催も考えていると思うが、茶話会だけだと参加が難しい保護者もいると思う。そのほか、「ファシリテーター育成講座の開催」とあるが、お母さん達も学びたい思いがあるので、ファシリテーターを育成するとともに、お母さん達自身が学んで、民間資格として認められて、子育てしながら何かができるといったアクションにつながるような育成講座があると良いと思う。ファシリテーターというと子育てが終わった方々がボランティアをやろうかなという意識になると思うが、それだけでなく、お母さん達自身も一緒に学びながら地域に貢献できるシステムがある方が良いと思う。</p>
副座長	<p>P2「20 放課後の子どもの居場所づくり」について、放課後子ども教室における卒業生を活かすことについて、本校では、卒業生の中学生がボランティアに来てくれている。中学生は小学生と一緒に遊ぶ中で自己有用感を感じるなど、いろいろな良さがあると感じる。「主な取組」の一番下にある、子どもたちが多様な経験や活動ができるように「スポーツプログラムの提供」や「出張体験講座の提供」とあるが、これらの拡充を検討してほしい。プログラムの提供が増えて、市内の放課後子ども教室のプログラムが充実していくことを進めてほしい。また、「現状と課題」の一番下、文中に「児童の体験格差が課題として問題視される中」とあるが、ここでは、「体験経験の貴重な場となっている」ことが主で言いたいことだと思うので、文中には、「児童の体験格差が課題として問題視される中」とあると、どちらを言いたいのかわかりにくいので、文末に、「児童の体験格差が課題です」とした方が良いと思う。</p>

	<p>P1「19 家庭教育支援活動の推進」について、今の保護者の方々は時間に余裕がなく、そして、横のつながりがつくりにくい方が多くいると思っている。「施策の方向」の2つ目にある、「保護者同士で情報交換したり、相談し合ったりする機会」として、「茶話会形式の家庭教育支援講座の開催」とあるが、こちらも拡充を検討してほしい。茶話会形式の場所に行くとなると保護者にとっては難しいことだと思うが、保護者会は必ず学校にあるので、各学校の保護者会にフィーカキャラバンに行ってもらえないかと思う。そのほか、「主な取組」の3つ目にある「保護者同士や地域をつなぐ人材」としてファシリテーターもあるが、地域をつなぐということであると、町会や自治会が強いのが八王子市の良さだと思っている。町会のつながりは老若男女である。保護者同士が、学校だけではなく、地元でもつながっていることが、子ども達を支える大事なことだと思う。</p>
参加者	<p>P1「19 家庭教育支援活動の推進」について、家庭教育について取り組んでいると思うが、その中で、学校と相對するのではなく、共に両輪となって子どもを育てる意識を醸成するような取組ができないかと思っている。そのほか、中央図書館で読み聞かせを勉強している方々と知り合いになり、学校に読み聞かせに来てくれている。子ども達に対して自分たちの活動を見せる機会を欲しているサークルの方はとても多い。そのような方々と学校をつなげるような体制づくりができないかと思っている。</p> <p>P2「20 放課後の子どもの居場所づくり」について、放課後子ども教室について、P T Aに依存をして運営しているところが多いことが課題だと感じている。民間の協力団体等に放課後子ども教室を移管できると良いと思う。P T Aに依存していると放課後子ども教室の継続は難しくなっている。</p> <p>P4「27 社会を創る学びの推進」について、「主な取組」の1つ目に「防災や防犯など、地域活動のきっかけとなるテーマの講座の開催」とあるが、私の地域では5町会が協力して学校が避難所になった場合に備え、防災訓練を行っている。避難所運営の際に中学生の役割がとても大きいと考えている。高校生や大学生は、その時に地域にいるかわからないが中学生は確実に地域にいる。防災を通じて、中学生の地域に対する貢献の気持ちが育つのではないかと思う。できれば、避難所運営だけではなくて、八王子市の施策は、地域づくりに重点が置かれていると思うので、地域づくり推進会議に小学生や中学生が参加できるようにできないかとも思っている。</p>
参加者	<p>P9「31 歴史文化の保存・活用」について、「施策の方向」の一番下に、「シビックプライドの醸成」とあるが、今後は、八王子市のブランディングが大切になってくると思っている。これからの八王子市がどのようなふうになったらうれしいか小・中学生から聞く仕組みができないだろうか。</p> <p>P3「26 誰もが学べる環境の整備」について、「施策の方向」の2つ目に「はちり</p>

<p>座長</p>	<p>力」による情報発信とあるが、昨年、八王子市に引っ越してきた際、転入した人向けに、いろいろなチラシを貰ったが、その中に「はちりカ」の情報はなかった。転入者向けに生涯学習に関する情報が一覧でまとまっていると利用しやすいと思う。市の広報にはイベントの情報が掲載されているが、その情報が市民に届いていないのがもったいないと思う。そのほか、「施策の方向」の4つ目にある、「体験活動の機会」について、自然観察会だけでなく、特定の技術やツールを使って体験できるようになると刺激になると思う。</p> <p>P1「19 家庭教育支援活動の推進」について、保護者の中には、フルタイムで働いている方もいるので、茶話会形式の講座に参加するのは難しいと思う。開催を平日の日中以外にも行うとか、line でやり取りできるようになると良いと思う。</p> <p>欠席した、佐藤さんの意見を紹介する。</p> <p>P2「20 放課後の子どもの居場所づくり」について、放課後の過ごし方は、各家庭によってさまざまである。学童保育の対象学齢の小学校3年生までは、ある程度充実していると思うが、高校生を含むそれ以上の学年の居場所づくりも重要だと思う。児童館のある地域では、そのニーズにある程度応えている印象があるが、児童館がない地域も多いと聞く。児童館の良いところは、特別なことがなくても居られることである。スポーツや地域活動は積極的に参加する意思が必要である。放課後子ども教室は対象時間が短く、児童館に代わるような、何となくいられるような場所を作ってあげることがとても大事なのではないかと思う。子ども食堂は、そういう意味では年々その意義が高まっていると感じている。社会福祉協議会などとも連携し、「ただ居だけでよい場所」づくりにも力を入れてほしい。</p>
<p>参加者</p>	<p>施策体系について、「15 持続可能な部活動の推進」は、放課後の中学生の活動のことが記載されていることから、「20 放課後の子どもの居場所づくり」と施策の順番が離れていることに違和感がある。</p> <p>施策展開の方向8「誰もが楽しめる生涯学習スポーツ・レクリエーション」について、その個別施策であるP6「28 生涯にわたる多様なスポーツ推進」・P7「29 スポーツができる環境の整備」・P8「30 スポーツによる地域の活性化・魅力発信」の内容に、レクリエーションの要素が見当たらない。スポーツの内容に寄っているように感じる。</p> <p>施策展開の方向9「市民が誇れる歴史と伝統文化の継承・活用」について、その個別施策であるP9「31 歴史文化の保存・活用」・P10「32 歴史文化・日本遺産の魅力発信」の名称が、「歴史文化」となっている。文化というのは歴史だけなのか。施策展開の方向9では、「歴史」と「伝統文化」と分けているので、施策名として違和感がある。</p> <p>P1「19 家庭教育支援活動の推進」について、保護者と学校をつなぎ、家庭教育を支援する人材が求められているとある。そのあたりは、スクールソーシャルワーカー</p>

ーに支援していただいているので、スクールソーシャルワーカーとの連携という観点で、スクールソーシャルワーカーを拡充してほしい。

P2「20 放課後子どもの居場所づくり」について、この施策の「子ども」は小学生を対象としているのか。「現状と課題」の7つ目に「持続可能な部活動」との文言があるので、この施策にある「子ども」の対象はだれに当たるのかわからなかった。そのほか、同じ欄に、「地域活動に参加しやすい環境づくり」とあるが、「環境づくり」とは具体的に何を指しているのか。また、その後に「参加の機会を支援します。」とあるが、「支援」とはどういうことを指すのかが分からなかった。「主な取組」の1つ目に、「地域活動の体験会の実施」とあるが、「体験会」はどういうことをイメージしているのかわからなかった。

P3「26 誰もが学べる環境の整備」について、「主な取組」の5つ目にある「外国人のための日本語教室の実施」について、「施策の方向」に「日本語を母語としない人」とあるので、これは多言語の対応が想定されていると思う。子どもたちも含めいろいろな世代が対象となっていくと思うが、ぜひ「外国人のための日本語教室の実施」について、できるだけ多くの外国人の方が対象となるような取組になってほしい。そのほか、「施策の方向」の6つ目にある「子どもだけでなく、大人の関心を引くことができるイベントを実施」とあるが、施策名に「誰もが学べる」とあるので、「大人の関心を引く」というよりも、大人も一緒に学べる内容の方が良いと思う。

P4「27 社会を創る学びの推進」について、「主な取組」の1つ目にある、防災について、中学校は町会がいくつもあるが、その町会が一体となって防災訓練や、避難所開設などを、中学校区の単位で取り組める機会があると良いと思う。重要だと思うのは、中学生だけではなく、高校生や大学生が防災の活動に参加できるような環境をつくることだと思う。「主な取組」の2つ目に、「高校生や大学生等が地域で活躍できる場の情報の収集・提供」とあるが、例えば、中学生と大学生をつなぐことで、中学生が大学生を身近に感じることができるし、自分が大学生になった時に、地域に貢献するような学びの循環につながってくると思う。大学生をいかに学校の活動や地域の活動に参画させるかが重要であると思う。

P6「28 生涯にわたる多様なスポーツ推進」について、「施策の方向」の2つ目に「部活動改革」とあるが、「学校が設置する部活動以外でも継続してスポーツができる環境の整備」とある。中学校としてはぜひお願いしたと思っているが、「環境の整備」とは具体的にどのような内容になっているのか。ここはとても重要なポイントだと思っている。

P9「31 歴史文化の保存・活用」について、「主な取組」の2つ目にある「防犯・防災についての啓発」について、文化財の所有者向けだと理解できるが、表記として唐突感があると感じる。もう少し表現の仕方を工夫すると良いと思う。

座長

P1「19 家庭教育支援活動の推進」について、家庭教育力を高めるためには、保

護者を巻き込んでいくことが大切だと思うが、その中で、「主な取組」は大きく3つに分かれていて、「いえいく」の活用や「茶話会での講座の開催」、「ファシリテーターの育成」とあるが、どちらかというと、自ら進んで取り組んでいくものだと思う。「現状と課題」の3つ目に「家庭での教育力の低下が懸念される」とあるのに、教育力が低下している人が自分で情報を収集し茶話会形式の講座に出ようとはしないと思う。情報を得ない方をどのようにしていくかが大切だと思う。「現状と課題」に「家庭での教育力の低下が懸念される」と謳うのであれば、なぜ教育力が低下しているのかを分析して、それに対する施策を明記するべきだと思うので検討してほしい。

P2「20 放課後の子どもの居場所づくり」について、夏季休業中の昼食提供や学童保育所の電子申請はとても良い取組だと思う。学童保育所が教育委員会の所掌になったことを知らない市民が多いので、情報の発信を引き続きお願いしたい。学童保育所の指定管理者制度について、地域の担い手不足の課題に対する方策だが、指定管理者制度は指標がいろいろあって点数化されていると思うが、金額面での点数が大きいと思う。子どもの教育は金額だけでは測れないことがたくさんある。評価の仕方のウエイトを工夫してほしい。

P3「26 誰もが学べる環境の整備」について、「現状と課題」の6つ目に「身近な場所で読書に親しめる環境の整備が必要です」とある。八王子市は市域が広いので、中央図書館や生涯学習センター図書館といった大きい図書館に行けない方も多い。各地域に市民センター図書館があるが、読書する場所や環境がない。

P4「27 社会を創る学びの推進」について「現状と課題」の2つ目に「生涯学習センターの空き部屋を活用した「学生のためのフリースペース」とあるが、この取組はとても良いと思うが、そのようなスペースがあるのは、駅前だけである。場所の問題はあると思うが、市全体で展開できないか。市民センターに行くと、試験前は多くの中学生や高校生がロビーで勉強している。私としては、空いている部屋を自習室に開放してあげたいと思うが、トラブルがあったときは、大人が介入しなければならない。お金がかかることではあるが、生涯学習センターのフリースペースのような場所を市内全体に設置できないか検討してほしい。

P6「28 生涯にわたる多様なスポーツ推進」について、「主な取組」の2つ目にある「学校が設置する部活動以外でも継続してスポーツができる環境の整備」について、この継続がすごくポイントだと思うが、「主な取組」に書くのであれば、こんな形だったら継続してスポーツができるといったアイデアがあっても良いと思うので検討してほしい。

P8「30 スポーツによる地域の活性化・魅力発信」について、「現状と課題」の4つ目に「各総合型地域スポーツクラブにおいて人材の高齢化、担い手不足等が深刻化してきており、それぞれの実情に合った支援を検討・実施していくことが必要で

	<p>す」とある。これは、10年前からの話である。10年前から今まで、何が変わったのかと思っても、思いつかない。恩方地域では、充実した総合型地域スポーツクラブがあるが、それでも人材の高齢化や後継者不足が課題である。他の地域では、もっと深刻なのではと思うので、「主な取組」の中に、実情に合った支援の内容を入れてほしい。</p>
参加者	<p>P10「32 歴史文化・日本遺産の魅力発信」について、八王子駅南口集いの拠点について、その場所に何ができるのか市民はあまり知らない。歴史文化の資料も集いの拠点の中にできる歴史・郷土ミュージアムに集約されると思うので、新しい施設を活用してもらいたいと思う。</p> <p>人がどういうときに動くかっていうというと、得をするときである。例えば、ボランティアすると、桑都ベイがプラスされるとか、もっといろいろなやり方はあると思う。興味関心を引く起爆剤となるものはいろいろあると思っている。</p> <p>そのほか、八王子市には「てくぼ」という制度があるが、利用できる年齢が決められている。</p> <p>若者や子育てを終えた方が何かをやりたいという人たちにも、毎日ちょっとゲーム感覚で活動しながら気が付いたら、その取組をすることでお得だったと感じるような、楽しさに繋がる魅力的なものができると思う。</p>
参加者	<p>P4「27 社会を創る学びの推進」について、学生のためのフリースペースの話が出たが、東大和市にあるシリウスという施設を見に行ったら。素晴らしいと思ったのは、図書館と学習スペースはもちろんあるが、一番上の階には何をやってもいいというスペースがあることである。人に迷惑はかけてはいけないが、いろいろな人が集ってディスカッションができるスペースがあり、そこにとっても多くの学生たちが集っていた。八王子市にもそのような施設があるとうれしいと思う。</p>
座長	<p>事務局におかれましては本日のご意見等を参考にさせていただけたらと思う。それでは次に移りたいと思う。次第の3その他であるが事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>指定管理者制度の評価について御意見をいただいた。御意見のとおり、学童保育所は子どもの施設なのでほかの指定管理者とは違って、施設の管理だけを行えば良いわけではない。よりよい保育ができるように、一つ一つの指定管理者がどのような保育をしているかをしっかりと評価しながら運営をできるような形にしていきたい。毎年行うモニタリングの評価についても職員が逐一見に行けるよう、抜き打ちで現場に行くというようなことも行っている。</p>
事務局	<p>放課後子ども教室の運営者についてのご意見もいただいた。PTAの皆様の負担が減るよう、「八王子モデル」というものを構築し、現在対応している。もし、運営が大変だと感じる地域がある場合は担当課の方へ声をかけていただきたい。</p> <p>P1「19 家庭教育支援活動の推進」について御意見をいただいた。</p> <p>現在、家庭教育支援講座を小学校の保護者会で開催していることが多く、開催を</p>

	<p>している学校では好評である。</p> <p>その中で、更に拡充をとということでご意見いただいた。拡充するためにはここにも取り組みとしてあるように、「ファシリテーターの育成」などが課題だと思うので今後も工夫していきたいと考えている。また、一度開催した学校では、好評であり、翌年も繰り返し開催している学校が増えてきているので引き続き、その良さを伝えていきたいと考えている。</p> <p>P3「26 誰もが学べる環境の整備」について、情報の一元化について御意見をいただいた。</p> <p>実際は、御意見をいただいた通り生涯学習という視点、もしくは子どもを対象にした部分になると関係する所管で縦割りになる部分が出てきてしまう。情報の発信もそれぞれの関係所管が発信していることから一元化されているかと言うとそうではなく、難しい状況があると感じ取れる。もう少し分かりやすいように情報が必要な人たちに届くよう工夫をしていきたいと考えている。</p>
事務局	<p>P2「20 放課後の子どもの居場所づくり」について、地域活動に参加しやすい環境づくりとは何を指しているか、という御意見をいただいた。部活動改革の中で、チーム連携としたうえで生涯学習スポーツ部としては、児童・生徒が参加することのできる地域団体の情報を発信している。ホームページの方に掲載しているのが、スポーツレクリエーション団体で79団体、文化芸術団体が70団体、約150団体の生徒たちが参加できる地域活動についてそのような情報を発信している。こちらについては、今後も拡充し、子どもたちが地域活動に参加しやすい環境を作っていこうと考えている。</p>
座長	<p>それはどのくらい利用されているのか。</p>
事務局	<p>今年の3月から発信を始めたので、まだデータは集められていない。</p>
参加者	<p>子どもたちのやりたい活動とのマッチングが中々できていないと思う。市のほうでも、中学生が参加のできるよう呼びかけてもらいたい。</p>
参加者	<p>保護者会の話が出たと思うが、保護者会に参加する人が少なくなっている。</p> <p>時間外勤務になってしまうのは分かるが、保護者が参加しやすい時間帯にタブレットやzoomを使用した保護者会のようなものを、年に一度でも良いので開催ができないか検討をしていただきたい。そこで、同じクラスの保護者の顔をなんとなく覚えておくだけでも繋がりが出来てくると思うので、現在使用されているタブレットを保護者も利用させていただくことができないか検討してほしい。</p>
参加者	<p>放課後児童支援課の施策の中で、学童保育所が今回新たな取組の中で取り入れられたと思うが、地域の財産として、放課後等デイサービスや民間の施設がある。そこに児童の発達障害に特化したノウハウをお持ちの人材がたくさんいる。特に八王子には、放課後等デイサービスが多い地域なので玉石混交ではあるのだが、地域の人材と一緒に何か作り上げることに取り組めないかを検討してほしい。学童保育所</p>

<p>座長 事務局</p>	<p>は学童、放課後等デイサービスは発達障害に分けられているが、それだともったいない。</p> <p>3 その他</p> <p>次回の開催予定を事務局から願います。</p> <p>次回の日程は10月25日(金)、場所は市役所本庁舎8階 801 会議室。時間は午後 7 時からを予定している。</p> <p>次回の開催通知、会議資料については、後日、電子メールにてお送りする。</p> <p>では、本日はこれにて閉会とする。</p> <p>4 閉会</p>
-------------------	---